

森づくり通信

No.56

2020年(令和2年) 6月 18日(木)発行／金沢森づくりサポートバンク事務局
〒920-1301 金沢市永安町77番地 (金沢市林業振興協議会内)
TEL:076-229-1699 FAX:076-229-1172



金沢産の炭

新型コロナ関連でうんざりな毎日が続いていますが、会員の皆様方はいかがお過ごしでしょうか？

この鬱陶しい状況を何とかならないかと思いますが、ワクチンや治療薬が開発されない限り、根本的には解決できないといわれ、人の活動が制限されると金も物も動かず、ありとあらゆる所に悪影響が出てきています。

私どもも開催できない森づくり現場を市森林再生課の皆さんと協力し、少人数で草刈りなどの保育を行い、本来ならば皆さんの活動成果のご紹介を掲載する本誌ですが、今回は森づくり現地のメンテナンス状況などの紹介に紙面を割かせていただきました。

令和2年 金沢森づくりイベント情報(一般参加可能分で未確定含む)

日程	イベント内容 (予定)	場所	問合せ先
8月4・5日(火・水)	夏休み子どもウッドアート 金沢産の木材でオリジナル木工作	金沢市民芸術村	金沢市森林再生課 076-220-2217
9月ごろ	森の小屋のお祭り 木や森の心地よさを感じるイベント	金沢市医王の里	角間里山みらい 076-229-1131
10月10日(土)	きんしん東原の森づくり 森林整備とレクリエーション	金沢市東原町	きんしん環境財団 076-231-7990
11月1日(日)	角間里山まつり 里山イベント	金沢大学 角間の里	角間里山みらい 076-229-1131

新任の挨拶

本年4月より、前任の山田事務局長に代わり皆様のお世話になることになりました木村と申します。

前職では、土木技師として金沢市役所で仕事をしており、近年の15年間程は防災や危機管理を担当し、治山や治水の大切さは理解していますが、森づくりに対しては十分な理解があるとは言えません。

森林管理や税制面など森林を取り巻く環境が大きく変化している中、森林の有する機能を十分に発揮するためにも、皆様方の協力を得ながら、市民の皆様へ広く周知し理解を深めていただけるようお役に立てれば幸いです。

今後ともよろしく申し上げます。

金沢市林業振興協議会 事務局長 木村裕一

森づくり活動団体のご紹介

例年なら新緑の頃、会員の皆様との森づくり活動に汗を流す季節のはずが予想もできなかった事態になり、諸団体の活動は延期または中止となりました。

このままではせっかく森づくりを続けてきた皆さんの森が荒れてしまうので、私どもと金沢市森林再生課、企業の有志の方々の力を借りての整備状況と現場の様子などもご報告できればと思います。

また、私ども「金沢森づくりサポートバンク」は金沢の貴重な財産である森林を守り育てるために設立され、森林の役割や森づくりの進め方などについて森づくり専門員が助言を行い、学校に赴き森林環境の教育や木育としてオリジナル木工作の作成指導などの出前講座を実施しています。さらに企業の森づくりに関しても、プログラムのアドバイスや植栽、森林保育、森林レクリエーションなど森林に関して幅広く対応していますのでご要望があればご一報ください。

【問い合わせ先】 金沢森づくりサポートバンク事務局 または 金沢市森林再生課 TEL076-220-2217

友情の丘（医王の里）

金沢市校下婦人会連絡協議会



2004年金沢市校下婦人会連絡協議会創立55年を迎え、医王の里に記念植樹を行ったのが森づくり活動の始まりで、毎年5月に会員の皆さんが森づくり活動を熱心に行っています。

私が着任した2012年時点は、植樹したコナラの木は非常に厳しい環境の中でなかなか大きくなれない状況でしたが、毎年側溝の枯葉を植栽木の根元に敷いたり、クズ切りなどの保育作業を行ってきた結果、実生のマツの枝払いを行うぐらいに森らしくなってきました。今年は4/15(水)と6/9(火)に草刈りを行いました。



金沢テクノ（テクノパーク）

金沢テクノパーク連絡会



金沢テクノパーク内に立地している企業の社員及び家族、一般市民が社会貢献、環境保全活動の一環として森づくりを2007年から春と秋の年2回、雑木林のやぶ整備や侵入竹の伐採、草刈り、植栽など多岐にわたり活動を行っています。

テクノの森の特徴としては他の団体の活動場所と異なり、通勤する会社に隣接しているメリットがあります。他の団体では多くて年3回の活動時にしか現場が確認できず、活用となるとほとんどできない訳ですが、テクノでは森づくりを進めれば進めるほど活用度が増し、社員や市民に憩いの場を提供できる可能性を秘めているという事です。

フィールドが複数あり断続的に保育作業を行い、今回はこぶし広場と奥のキノコの栽培場所に通じる道の草刈りとシイタケの植菌を行いました。



ダンロップ（キゴ山）

ダンロップタイヤ北陸

2005年からキゴ山の会場に桜の木を植栽、草刈り作業を年1回行い2014年時点で植えた桜も大きくなり整備も行き届いてきたので、隣接するカラマツ林の藪の整備作業に着手しました。

初期の森の状態は左上の写真で右上は一昨年ハナミズキやキンモクセイなどの植栽を行い、見通しもよくなり金沢では珍しいカラマツ林になってきました。

今年は見晴らし台周辺に20本のカラマツの植栽予定でしたが秋に向けてテクノの一角に仮植えをしました。



コマツ（粟崎）

コマツ金沢工場

コマツ金沢工場を開設したことを契機に地域貢献活動の一環として、「粟崎やすらぎの林」を地域住民と共に森づくりを行う活動を2010年より年2回行っています。

活動は松くい虫の被害を受け減少し続ける海岸林の再生を目指し、抵抗性クロマツの植栽を行い手入れを行っています。

近年は新人教育の場としても利用され、草刈りやクロマツの枝払いも行っています。

写真は植栽地の草刈り作業の様子です。



きんしん（東原町）金沢信用金庫

きんしん環境財団を2008年、里山の保全等を目的に設立し、夕日寺町と東原町で森づくり活動を行っています。植樹活動はもちろん草刈りメンテナンスや周回路整備、現地木での階段作り、竹林整備など地元の手厚い協力を得て森づくりを年2回行っています。毎回、地元の女性部がおいしいメツ汁を振舞ってくれます。今回の草刈りは地元にお願ひしました。



4月27日(月) 内川小学校出前講座

2020年4月27日(月)1～3年生の児童と保護者、内川地区の地域協力隊の皆さんの協力を得て、コナラの原木30本にのりとてまりと同じシイタケの植菌を行いました。

コロナ対策でマスク着用と参加者同士の距離を取り、先生方にも穴あけの体験や昨年以前に植菌したシイタケが生っており収穫も行いました。



金沢森づくりサポートバンクのホームページをご覧ください！

「金沢森づくりサポートバンク」

森づくりイベントの案内や会員の皆さんの活動の様子を掲載し、道具の貸し出し申請書や会員登録用紙のダウンロードなどでもできるサイトとなっています。

金沢森づくりサポートと検索してください。

また、サイト内には年4回発行の「森づくり通信」も閲覧できるようになっており、団体会員の活動紹介もさせて頂いております。



※※※ ハイキングや山菜採りの時は、クマにご注意!! ※※※

新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言が解除され、開放感とともに自然を求めて、ハイキングや山菜採りにお出かけの方も多いでしょう。

しかし、これから特にクマが活動的になる時期です。そこで、クマと出会わないために・・・

- ① 山に入る時は、複数人で行動し、ラジオや鈴を身につけましょう!
- ② ゴミを放置せず、もち帰りましょう!

森林はクマの住処でもあります。美しい森林を楽しむためにも、クマに会わないよう充分注意しましょう。

- ① クマは、逃げるものを追う習性があります。刺激しないように、あわてず落ち着いて、静かに後退しましょう!
- ② 子グマを見かけたら、母グマが必ず近くにいます。危険なので、速やかに立ち去りましょう!

編集後記

「細菌」

ウイルスと細菌は違いますが、悪者の細菌は一部に過ぎないと思っていたところ、書店で「あなたの体は9割が細菌」というタイトルが目にはいり購入しました。著者は生物学者で自らの体験を考察することによって、細菌がいかに人に益をもたらす存在であるかを解き明かしてくれています。

人間の細胞1個につき10個の細菌が共生しており、著者はジャングルで細菌に侵され抗生物質を大量に打つことで回復したが、その後原因不明の不調が続き、原因を探る中で抗生物質は確かに生命を維持してくれたが、益をもたらす細菌まで除去してしまったことが判明しました。牛やコアラ、パンダなどは自分で分解できない主食を胃や腸に住んでいる細菌に分解してもらい栄養素を取り入れ、ヒトもCMで流れる乳酸菌や納豆菌、発酵食品が免疫力を上げ吸収を助けるなど科学的に解明されてきました。

また、100年前には存在すらしていなかったアレルギー、花粉症、アトピー、自閉症などの21世紀病といわれる疾病は人体内の微生物バランスが崩れた結果だと論じています。なんと肥満さえも腸内細菌のバランスの崩れだと言っています。

ヒトの遺伝子解明も出来た今日、疾病と遺伝子の関連性は意外と薄く、どんな細菌を親から受け継ぎ、生活習慣の中でどんな細菌と共生していくかが重要だそうです。

